



重要無形文化財保持者 勝城蒼鳳展

会期：2016年9月1日（金） - 9月29日（金） 10:00～17:00

会場：板室温泉大黒屋サロン

入場無料 会期中無休

板室温泉大黒屋は、9月1日（木）から9月29日（木）まで、重要無形文化財保持者（人間国宝）勝城蒼鳳の個展を開催いたします。板室温泉大黒屋では2013年の「竹・アート7人展」での展示以来、また個展としては1998年以来18年ぶり、2回目の開催です。

勝城蒼鳳は那須塩原市に生まれ、大田原市で制作を行う那須の竹工芸、また日本の竹工芸を代表する作家の1人です。地元の竹を育てることから始め、編み・染め、仕上げなど高度で幅広い技巧を駆使して仕上がる作品は、繊細かつ独特な造形で高い評価を得ています。

その中でも勝城蒼鳳の作品の独自性に対する高い評価は、一貫して那須の自然の中で暮らし、様々に変化する豊かな自然の造形美からインスピレーションを得て作られるかたちにあります。東京国立近代美術館の所蔵となった波千鳥編盛籠「溪流」が那須を代表する河川那珂川のせせらぎから造形のヒントを得たように、今回も日々の自然との暮らしの中で編み出される作品が出品されます。この度は那珂川の源流のほとりに位置し、那須の豊かな自然を共有する大黒屋という場で、82歳という円熟期を迎えた作家の作品を一堂に展示する貴重な機会となりました。県内をはじめ、多くの方にご覧いただけますと幸いです。

勝城蒼鳳 Soho Katsushiro

- 1934 那須塩原市高林村に生まれる
1949 高林中学校卒業後、
竹細工師菊地義伊氏に入門
1965 大田原市の竹工芸家八木沢啓造氏に師事、
本格的な創作活動を開始
数々の伝統工芸展に出品、受賞を重ねる
1985 東京国立近代美術館工芸館に波千鳥編盛籠
「溪流」が収蔵される
1998 榎割千筋流線文盛藍文化庁収蔵 紫綬褒章受章
2005 重要無形文化財保持者に認定される
大田原市名誉市民、栃木県文化功労者



主な展示

- 1967 「伝統工芸新作展」初出品、初入選（以後入選 37 回）
1968 「日本伝統工芸展」初入選（以後入選 34 回）
1977 「栃木の美術現況展」招待出品
1985 東京国立近代美術館工芸館
「竹の工芸～近代における展開～」展 招待出品
1988 「JAPAN AND AMERICAN BASKET MASTARS 展」
（アメリカ / シカゴ）
2001 「栃木県美術の二十世紀Ⅱ」千年の扉 - 県内美術の現在 -
2012 「JAPAN NEXT EXHIBITION of Fine Arts」千筋曲線文盛籠『罨』招待出品
主催：内閣官房知的財産推進事務局（パリ、ニューヨーク）



本展出品作品
榎割摺漆花藍「花の友 豊」

主な受賞歴

- 1972 「日本花器・茶器美術工芸展」優秀賞受賞
1981 栃木県芸術祭賞受賞（栃木県芸術祭審査員歴任）
1983 日本伝統工芸展 波千鳥編盛籠「溪流」東京都知事賞受賞
1997 日本伝統工芸展 榎割千筋流線文盛藍 NHK 会長賞受賞



参考作品：大黒屋所蔵

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願い致します。
ご質問等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

板室温泉大黒屋 325-0111 栃木県那須塩原市板室 856

website : www.itamuro-daikokuya.com

